

創設当時の八号水源

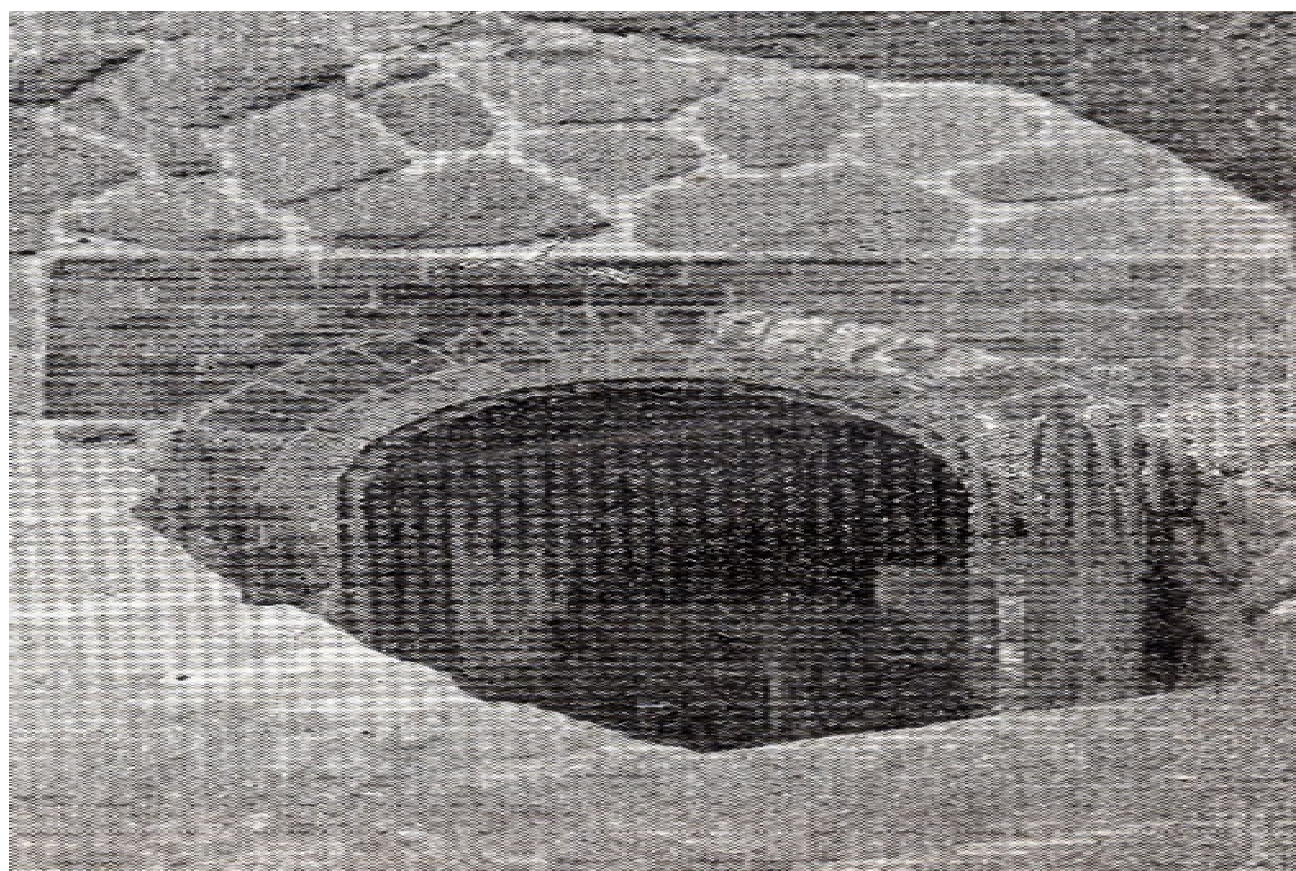
曾屋水道の遺構

～当時の曾屋水道の水源～

飲料水の欠乏を改善するために、増水を目的として掘削し、大正3年に竣工した水源です。

この水源ができたことにより、水不足が改善され、専用栓を増設しても用水不足を招かないことが確認されるなど、曾屋水道にとって大きな転機となりました。

ロ号水源と同様に、関東大震災による被害を受けてしまいましたが、隧道（ずいどう）を延長して改修されました。



創設当時の八号水源